

学校関係者評価委員会の提言を受けて

日頃より本校の教育活動へのご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。さて、この度は学校関係者評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果と本校職員の自己評価を学校関係者評価委員の皆様へに審議していただき、稲田学校関係者評価委員長より「学校関係者評価委員会の提言」をいただきました。この貴重な提言を令和3年度の教育活動に反映させてまいりたいと考えます。今度とも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

〈令和3年度の教育活動充実に向けた対策〉

【はじめに】

保護者アンケートは、98%という高い回収率でした。保護者の皆様方の学校教育に対する関心と期待の大きさに気持ちの引き締まる思いです。学校と家庭、地域が一体となり、その役割を意識して児童の教育に当たることが重要です。今度とも学校教育に関心をもち、ご協力ください。

1 教育目標 よく考える子〈知育〉ものごとをよく考え、向上しようとする子ども について

新型コロナウイルス拡大予防措置として、児童の発言や話し合いの場の設定が多く取れない中ではありましたが、学級では、発言の仕方の徹底、ハンドサインや相互指名等の発言方法や発表形態の工夫を行ってきました。主事の手作りの発表用パーティションも大いに役立ちました。自分の考えや意見を伝え、友達の考えを聞いて学びを深める授業を今後も目指していきます。

学校公開の機会が少なく、学習の様子が伝わりづかったことは、大変残念に思います。しかし、できる限り学校での様子を発信しようと学校からの通信を工夫し、学校ホームページの充実を目指しました。次年度も積極的に発信しますので、楽しみにしてください。

日頃の授業において、「子どもの印象に残る授業」「子どもが家庭で伝えたい授業」の実践を望む、との提言を受けました。教材や展開を工夫し、引き続き、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をすすめていきます。ご家庭においては、学校での授業の様子を話題にする、家庭学習の定着を図るなどの連携をお願いします。次年度は、校内研究を算数科にし、児童の思考力、判断力、表現力を育むとともに、主体的に学ぶ態度の育成を図っていきます。また、今後は、ご家庭においてもタブレット端末を活用とした学習が増えますので、モラル教育、視力低下防止を含めた連携をお願いいたします。

2 重点 教育目標「豊かな心をもった子」〈徳育〉思いやりのある優しい子ども について

生活のルールについては、「花の子スタンダード」等による、全校で統一した指導の徹底を図りました。生活指導においては、特に、全教職員による共通理解、共通実践が基盤ととらえています。ただ単にルールを守らせることに主眼を置くのではなく、自分で考え判断し、行動できるようになるための基本として、「ルールは何のためにあるのか」を考えさせながら指導を重ねてきました。

アンケート結果から児童も教員の指導の意図を理解していると言えます。行動につながられるよう引き続き、繰り返し指導していきます。

あいさつは、人間関係構築の上での基本であり、基礎はご家庭での教育にあると捉えています。学校は、その実践の場です。「あいさつ名人」や「あいさつ宣言」の取組は、児童の意欲喚起につながっています。

次年度もこの取組は継続し、様々な機会を捉えて、場や相手に応じた気持ちのよいあいさつが身に付けられるよう工夫してまいります。

3 教育目標 健康な子〈体育〉体を丈夫にし、明るいい心をもつ子ども について

臨時休校明けに児童の体力の低下を感じました。体育等では、徐々に体を慣らすよう配慮して活動しました。学校では通常休み時間の外遊びを奨励していますが、密を避けるため校庭は2学年ずつ、体育館は学年利用に変更しました。また、できるだけ校庭で遊べるよう、学年で昼休みと清掃時間をずらしたり、朝遊びを開始したりしてきました。集団遊びは、体力を保持するだけでなく、ルールを工夫したり、問題を解決したりする経験を通して、良好な人間関係を構築していくすべを学んでいっています。通常の学校公開では、当然、休み時間も公開していますので、授業時とは異なるお子さんの様子をぜひご覧ください。

放課後の遊び方については、数件、相応しくない状況が報告され、教員が公園や集合住宅等に指導に向かうことがありました。校外での過ごし方の指導やその都度様子を見に行くことはしましたが、教職員が定期的に見回することは難しいです。PTA 校外委員会、保護者、地域の方々のご協力をお願いしたいと思います。

4 学校行事について

3密を回避する方法を検討しつつ、実施しました。制限のある中でしたが、児童の「学校行事は楽しい」「達成感がある」の項目に対する肯定的評価が高く、安心しました。

運動会は、学年ごと1単位時間内で密にならない競技（徒競走・団体競技）を行いました。開閉会式の有無、方法についても、各学年で検討し、工夫して、1時間の内容を計画、実施しました。

地域の皆様にご相談の上、90周年記念式典、祝賀会は中止としました。しかしながら、代表委員会児童が中心となった90周年児童集会を Zoom で行いました。児童の思い出に残るよう、校庭にて風船飛ばしを実施しました。学校や地域への愛情を育む学習活動は各学年で実施し、学校が好き、地域が好きな子を増やすように努めました。

花の子学習発表会も、各学年1単位時間を割り振り、日頃の学習の成果を発表しました。体育館では、学級ごと入れ替えながら発表しました。子どもたち一人ひとりの活躍の場となりました。次年度も、日常の学習の発表の機会として位置付けます。

次年度の花の子作品展は、図工、家庭科作品の展示とし、書初めについては、書初め展を独立させます。

宿泊学習は、中止となりました。校外学習は、時期を変更し計画しましたが、緊急事態宣言再発出のため、中止となりました。6年生の卒業遠足のみ、再々延期しながら、3月22日に実施できました。

学校行事は、体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めたり、達成感を味わったりすることができ、学校生活においても大きな意義をもちます。今後も計画的に準備を進め、実施していきます。

5 さくらの学び舎について

学び舎の児童生徒交流は、6年生への生徒会ガイダンス、6年生の外国語授業における部活動紹介ビデオでの出演等を行いました。教員研修としては、中学校での授業公開、及び協議会を実施しました。次年度は、あいさつ運動での児童生徒交流や、教員の出張授業等を実施していきたいと考えています。また、桜丘幼稚園との交流も図っていくようにします。

6 情報提供について

学校だより、学年だより、学級だより等の通信やホームページで学校からの情報提供に努めました。中止になった道徳授業地区公開講座や学校公開での授業の様子は紙面に報告しました。Zoom により、児童の様子を配信することも可能になりました。次年度も様々な方法で、積極的に情報提供していきたいと思えます。

7 安全面について

「自分の身は自分で守る」ことが安全教育の目標とするところです。災害安全については、特に、地震の際の安全行動の徹底を図りました。緊急地震速報を鳴らし、「『落ちてこない、倒れてこない、移動してこない』場所でダンゴムシの姿勢」など、具体的な指示をしました。教職員も様々な場面で自ら判断できるよう、避難訓練の内容を見直したり、校内研修をしたりしました。また、安全マニュアルを作成し、家庭や地域へ配布し、周知できました。

安全教育は、行動が伴ってこそその学習です。下校時に、友達と追いかっこをしたり、道いっぱいに広がって歩いていたなど、はらはらする場面に出遭うこともあるので、引き続き、危険を予測し回避する力を育てるよう安全学習に努めます。次年度は、6年生を対象に自転車シミュレーターによる安全学習を計画しています。加害者にもなり得る自転車運転の事例を含めた学習になる予定です。交通ルールの徹底については、ご家庭でも繰り返しお話しください。また、大人が範を示すことが大切ですので、共に努めましょう。

8 学校運営について

今年度、学校経営方針については、保護者全体会ができなかったため、紙面とビデオによる配信となりました。また、児童に伝わるような言葉をキャッチフレーズとして、休校明けの出発式や、始業式で発信してきました。重点目標の明確化については、さらなる工夫と発信に努めてまいります。

9 地域との連携について

地域に根差した学校を目指す上で、地域との連携は重要だと捉えていますが、今年度は、交流活動はできませんでした。しかし、地域の方をゲストティーチャーにお呼びする学習活動は、様々な学年で実施でき、有意義でした。豊富な地域人材を活用することは、教育環境の深まり、広がりに通じます。今後は、人材バンクを作成し、地域との交流、連携を深めてまいります。ぜひとも、ご協力をお願いします。

学校運営委員会は、3回の開催となってしまいましたが、記録を紙面にて発出しました。学校支援コーディネーター等の活動内容についても広く周知してまいります。次年度は、お玉が池や学級園の環境整備でもお力をお借りする予定です。

10 キャリア教育について

キャリア教育では、様々な体験活動や地域の方とのふれあいや交流を通して、社会とのつながりを意識できるような活動を行います。そして、これらの活動を振り返る中で自分のよさに気づき、自己肯定感や自尊感情を育み、自分の生き方や将来に夢がもてる教育を展開していきます。

今年度は、どの活動がキャリア教育なのか、また、各学年のつながりが不明瞭な部分がありました。そこで、各学年の年間指導計画に、キャリア教育を系統的、段階的に位置付け、さらに地域や外部の方、学び舎の子どもたちとの連携も積極的に取り入れるようにいたします。

今年度から始めたキャリアパスポートをさらに活用して、行事や総合的な学習の時間、学級活動等において、子ども自ら目標や課題を設定し、取り組んだことを振り返ったこと等の記録を積み重ね、自身の変容や成長を年間通じて自己評価できるようにしていきます。その自己評価に教員が対話的に関わることで、個性を伸ばす指導へとつなげ、自己有用感をもたせるようにしていきます。また、保護者の方にも本パスポートを通じて情報を共有し、お子さんの成長を見取り、称賛し、励ましていただけますようよろしくお願い申し上げます。

11 教職員について

来校された方々より、「本校の教職員は、あいさつをよくしてくれ、気持ちがいい」と言っていただくことが度々ありました。子どもたちにあいさつの奨励をしています。大人が範を示すことが何よりも大切です。

今後もさらに児童理解を深め、研鑽を積み、一人ひとりを大切にしたい教育活動を教職員一丸となって進めてまいります。次年度におきましても、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。